

# 秋田県商工会地域景況判断ボード

平成24年10月～12月期

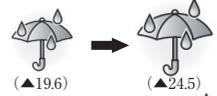
## 概況

一部に持ち直しがあるものの、全体的に悪化傾向。

### 【全体】

業況DI値は▲24.5と悪化企業が増加、全地域が悪化傾向にあり、中でも中央部地域が大幅に悪化した。業種別では、製造業及び建設業が改善しているものの、前回調査に引き続き小売業が最も厳しい状況にあり、大手企業の進出、先行き不透明による消費マインド低下が影響している。

[前回調査との比較]



### 【北部】

- 業況DI値は▲16.0と悪化したと感じた企業が前回調査より2.7ポイント増加した。全項目のDI値がマイナスで推移しているが、特に売上に対して悪化したと感じている企業が多い。
- 来期の見通しは全ての項目でマイナス幅が増加し、悪化傾向にあると予想した企業が多い。特に業況が悪化すると感じている企業が多く、不透明な先行きによる不安感が表れている。

### 【中央部】

- 業況DI値は▲34.4と悪化したと感じた企業が前回調査より8.8ポイント増加した。採算・資金繰りは前々回から徐々に持ち直していたが、今回は全項目で悪化傾向に転じている。
- 来期の見通しは全ての項目がマイナスで、売上・採算のマイナス幅が増加している。大手製造業の事業再編による影響や大型ショッピングセンター出店による購買流出を懸念している。

### 【南部】

- 業況DI値は▲24.5と悪化したと感じた企業が前回調査より3.9ポイント増加した。全項目のDI値がマイナスで推移し、悪化傾向に転じている。特に資金繰りに対して悪化したと感じている企業が多い。
- 来期の見通しは全ての項目がマイナスだが、採算を除き持ち直す予想した企業が多い。震災復興関連工事受注の影響を挙げている。

## 【製造業】「ニーズ多様化による利益圧迫」

- 今期の業況** (1年前との比較) DI値は、▲14.1と前回調査より8.4ポイント改善している。需要はあるものの、製品単価の低下や製品ニーズ多様化への対応により利益の確保が難しくなっている。
- 来期見通し** (3カ月ごとの比較) 売上を除くDI値がマイナスになっており、来期は悪化すると予想した企業が増加した。需要の停滞や製品単価の低下により採算・資金繰りが悪化すると予想した企業が多い。
- 設備投資** 今期実施件数は9件あり、そのうち生産設備に対する投資が6件ある。また、来期計画件数は3件で、生産設備に対する投資が1件あり、厳しいながらも、受注の見込みがあることがうかがえる。

## 【建設業】「持ち直しの動きが続く」

- 今期の業況** (1年前との比較) DI値は12.7と前回調査より10.6ポイントの大幅な改善傾向にあり、売上・採算・資金繰りも改善傾向にある。リフォーム補助金の民間需要や震災復興関連工事により受注を確保している。
- 来期見通し** (3カ月ごとの比較) 全てのDI値がマイナスを示しており、悪化傾向にある。官公需要の停滞による競争激化や請負単価の低下により売上・採算が悪化すると予想した企業が多い。
- 設備投資** 今期実施件数は10件あり、そのうち不動産や建設機械に対する投資が8件ある。また、来期計画件数は7件で、不動産や建設機械に対する投資が5件と、先行き不透明な状況だが、受注の見込みがあることがうかがえる。

## 【小売業】「大手進出影響で低調に推移」

- 今期の業況** (1年前との比較) DI値は、▲58.3と前回調査より12.1ポイント悪化している。大手コンビニチェーン進出や大型ショッピングセンター出店の影響や、景気停滞及び消費増税等の先行き不透明からの消費意欲低下により、他の業種と比べ悪化企業の占める割合が高い。
- 来期見通し** (3カ月ごとの比較) 全てのDI値が改善傾向にあるものの、マイナス値となっており、依然厳しい状況が続くと予想した企業が高い割合にある。
- 設備投資** 今期実施件数は6件あり、そのうち販売設備に対する投資が1件ある。また、来期計画件数は4件で、販売設備に対する投資が1件と、先行き不透明な現状に現状設備で対応している企業が多数見られる。

## 【サービス業】「客数減少に不安感」

- 今期の業況** (1年前との比較) DI値は、▲22.1と前回調査より14.4ポイント悪化している。地域の大手製造業やホテルの撤退等による消費冷え込みや客数の減少により、悪化したと感じた企業が多い。
- 来期見通し** (3カ月ごとの比較) 全てのDI値がマイナスを示しており、先行きの不透明感から、業況・売上について悪化すると予想した企業が多い。
- 設備投資** 今期実施件数は9件あり、そのうち建物・サービス設備に対する投資が4件ある。また、来期計画件数は8件で、建物・サービス設備に対する投資が6件あり、厳しいながらも、投資意欲のあることがうかがえる。

### 北部トピックス

- 10月に八峰町、能代市、藤里町を繋ぐ森林基幹道米代線が全線開通した。沿線の林業振興のほか、観光振興の面でも期待される。
- 夏から秋にかけての大館能代空港の搭乗者数及び搭乗率が減少。公共交通機関も乗客数の減少に伴い売上が減少している。

### 中央部トピックス

- 由利本荘市で行われたシェールオイルの実証試験により、国内初の採取に成功し採油の可能性が確認された。平成26年度に試験生産の予定で、本格生産の実現による雇用創出など経済効果が期待される。
- にかほ市で雇用の受け皿としてコールセンターを誘致し、従業員100人を募集。11月中旬に定員に達する予定で、雇用の改善が図られる。

### 南部トピックス

- JAおばこと北海道の畜産業者が仙北市に県産黒毛和牛の大規模肥育団地を平成25年度に開設、計画では1千頭規模を見込み、レストラン経営も予定。また、来年の秋田県種苗交換会が仙北市で初めて開催されることが決定した。
- 大手コンビニの出店攻勢が続く、小売業は厳しい経営を強いられている。

### 【天気図】前年同期比のDI値をもとに作成



※「DI値」とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加企業割合と、減少企業割合の差を示す。

### 【調査要領】

- 調査対象 (1)対象地区:全21商工会地区 (2)対象企業数:294企業 (3)回答企業数:294企業 (回収率:100%)
- 調査対象時期 平成24年10月～12月期を対象とし、調査時点は平成24年11月15日とした。
- 調査方法 (1)商工会の経営指導員による訪問面接調査 (2)調査対象企業の抽出は「中小企業景況調査実施要領およびマニュアル」による。

業種	対象企業数			合計
	北部	中央部	南部	
製造業	22	18	23	63
建設業	18	13	17	48
小売業	25	28	26	79
サービス業	41	31	32	104
合計	106	90	98	294

- その他
  - 本報告で使用するDI値とは、前年同期の景況を基準にして各調査項目で増加または減少したと答えた企業の割合を算出した値である。今回調査の前年同期とは平成23年10月～12月期、前期とは平成24年7月～9月期、来期とは平成25年1月～3月期のことをいう。
  - 本報告で主に使用する調査項目は、業況・売上・採算・資金繰り、設備投資の状況、経営上の問題点とした。